

議員研修報告書

研修先	福岡県久留米市議会 福岡県三井郡大刀洗町議会 ほか
日程	令和7年6月18日(水)～20日(金)
参加者	高橋議員、金長議員、綿引議員、飯村議員、桜井議員、加藤木副議長、藤咲議員、片岡議運委員長、阿久津議員、総務課長、事務局職員
<b>【内容】</b>	
1日目 太宰府天満宮・宝物殿	
2日目 久留米市役所・市議会傍聴(一般質問・最終日) — 大刀洗役場・町議会(視察・交流)	
3日目 熊本県防災センター・熊本城(わくわくミュージアム・梅の小路散策)	
<b>【所感・課題等】</b>	
<p>太宰府天満宮の「御本殿」は現在124年ぶりの令和の大改修に伴う「仮殿」での参拝。全国的に話題になっているだけあって、観る人の心に刻まれる美しくて素晴らしい造形。</p> <p>久留米市議会は執行部側の服装は自由な軽装・スーツ未着用でタブレット端末がない。議員側はスーツやノーネクタイなど統一はされていないが、議会用の出で立ちでタブレット持参。</p> <p>議場全体が茨城県庁の議場と同じ様な作りで、議長席の背面に大型モニターを設置し登壇者及び発言者の表情がリアルタイムで映し出される。一般質問の最初も最後も議員全員で拍手。</p> <p>また登壇者の発言所要時間は20分で執行部側の答弁時間はカウントされず、持ち時間終了3分前にアラームが鳴り議場内のすべての人に知らせる仕組み。</p> <p>大刀洗町議会と①議会改革について②議会広報全般についてを議題に、研修・質疑を含む意見交換会。また終了後には大刀洗町議場を見学。</p> <p>① ①毎年4会場で開催される議会報告会。②定例会ごとの議会モニター。③議員相互の自由討議。④答弁事項の追跡調査。⑤政策提案を含む積極的な調査研究。⑥各団体との意見交換。⑦議会基本条例に即した議会活動の検証。⑧各種SNSを活用した多様な広報手段の確立。これら8つのすべての活動を、議会だよりで紹介報告。</p> <p>② ①自由討議による合意形成の推進。②参加者の意見を重視した議会報告会。③町民から8名が参加する議会モニター制度某入。④町民目線で読みやすくわかりやすい議会広報発行。⑤議員による政策提言。⑥各種団体との意見交換。⑦議会活動の検証。⑧「検討する」との答弁を追跡⇒調査⇒公表。④休日議会開催⇒現在はインターネット中継開始による休止。</p> <p>全国議会広報コンクール9年連続入賞受賞。広報も約300紙中3位～4位との事で、上記でお示した町民を巻き込んだ運営や体制作り・議員間での意識共有など、高評価されるのは当然。</p>	

熊本県防災センターにて、災害の経験や教訓・災害発生のメカニズム・防災の取り組みなど、センター長のお話を展示パネルやプロジェクションマッピングを通して伺う。VRなどによる体験シミュレーションも充実しており、早期判断と行動、自助・共助・公助の大切さを改めて痛感。

平成28年熊本地震から震災復興を続けている熊本城。幾度の災害により焼失・落下・崩落の被害など危機を迎えたが、震災復興のシンボルとして観光客を魅了し今も輝きを放ち続ける。

とにかくスケールが大きく存在感は抜群。上下左右どの位置から観ても素晴らしく大天守閣から見える眺望は圧巻の一言。古代から続くロマンと技術の結晶で、貴重な日本の名城を再確認。

二泊三日の視察研修を通して一番印象に残り驚いたのは博多市の夜の風景。東京を連想させる活気溢れる賑わいで、やはり高島市長＝トップに誰が就任するかで成功の是非が決まる典型例。